

【学校教育目標】

正親の伝統に誇りをもち、
目標に向かって主体的に学び続ける子の育成

【校訓】

一、何事も**正**直にせよ一、誰にも**親**切なれ一、常に**勇**気あれ

(明治36年6月21日制定)

【育成を目指す資質・能力】

「自己調整力、自己決定力」

めざす子ども像

- 人の言葉に耳をかたむける子（人間性）
- 自分で考え行動する子（学びに向かう力）
- 学んだことをしっかりと身に付ける子（知識及び技能）
- 学びのすべてを生かして問題解決する子（思考力・判断力・表現力）

《キーワード》

「みんなが笑顔の学校」

(認め合い、学び合い、支え合い、安心して失敗できる教育環境)

めざす学校像

- ・夢と希望に満ちあふれた活気ある学校

めざす教職員像

- ・最上位目標に向かって一人一人の子どもを徹底的に大切にする教職員
- ・豊かな愛情と高い専門性で、誠実に対応する教職員集団

《生徒指導の実践上の4つの視点》

- 自己決定の場の提供
- 自己存在感の感受
- 共感的な人間関係の育成
- 安心・安全な風土の醸成

《令和の日本型学校教育の構築》

- 子どもを主語にする学校
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

